

天龍村 橋梁・トンネル長寿命化修繕計画  
(第2期)

令和6年1月  
令和8年4月改訂

天龍村 振興課

## 目 次

1 老朽化対策における基本方針	1
2 個別施設の老朽化の状況	2
3 健全度の把握及び日常的な維持管理、新技術の活用に関する基本的な方針	3
4 対象施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	4
5 対象施設ごとの概ねの修繕内容・時期又は架替え時期	5
6 長寿命化修繕計画による効果	5
7 計画策定担当部署	5

# 1. 老朽化対策における基本方針

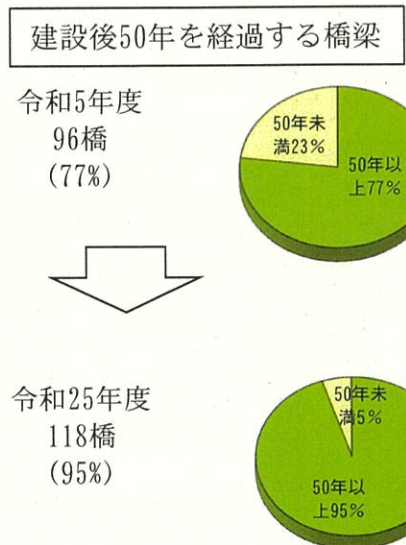
## 1) 基本方針

天龍村が管理する橋梁及びトンネルの中で、架設後50年以上経過した施設は橋梁で77%、トンネルは100%を占めている。近い将来、一斉に修繕や更新の時期を迎えることが予想される。従来の「対症療法型」で維持管理を続けた場合、修繕や更新に要する費用が一時期に多大となることが懸念される。そのため、長寿命化及びLCC(ライフサイクルコスト)の縮減を目指し、「予防保全型」への転換を図ることを基本方針とする。

## 2) 背景

天龍村が管理する橋梁は124橋、トンネルは9路線ある。橋梁については、建設後50年を経過する橋梁は96橋で、橋梁全体の77%を占めている。これらの橋梁の多くは、高度経済成長期に架設されており、さらに20年後の令和25年度には、その数が118橋になり全体に占める割合が95%となる。トンネルは、すべての路線で50年以上が経過している。天龍村は、南アルプスと伊那山地に囲まれた地域で集落が山間部に点在しており、落橋等により孤立する地域が発生する可能性が高い。また、冬季には凍結防止剤が散布され劣化進行が助長されることが予想される。

そのため、これらの立地環境における橋梁等に対して、従来の対症療法型で維持管理を続けた場合、修繕・架替え時期が集中し、費用が一時期に偏るだけでなく、大規模工事に伴う交通規制や通行止め等により、地域に重大な影響を及ぼすことが懸念される。



## 3) 目的

このような背景から、より計画的な維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に維持管理していくための取り組みが不可欠となります。

コスト縮減のために、従来の損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う「対症療法型」から、損傷が深刻化する前に予防的な対策を行う「予防保全型」へ転換を図り、施設の寿命を延ばし、一度にかかる補修費用を削減する必要があります。

そこで大鹿村では、将来的な財政負担の低減、補修費の平準化及び道路交通の安全性の確保を図るために、長寿命化修繕計画を作成することを目的とする。

「予防保全型」・・・ 損傷が深刻化する前に予防的な修繕を行う

「対症療法型」・・・ 損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う

## 4) 計画期間

定期点検サイクルや診断の結果を踏まえ、令和6年から令和10年とする。

## 2. 個別施設の老朽化の状況

### 1) 管理施設数

#### 橋梁

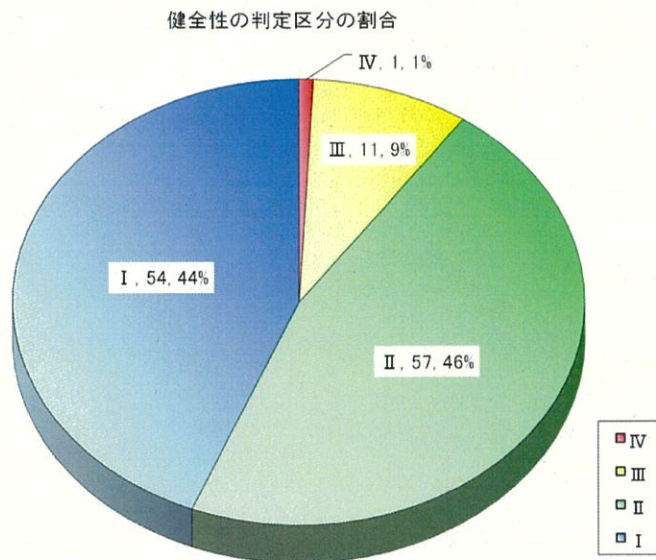
	1級村道	2級村道	その他村道	合計
管理橋梁数	29	15	80	124
計画対象橋梁数	29	15	80	124

#### トンネル

	1級村道	2級村道	その他村道	合計
管理数	0	6	3	9
計画対象数	0	6	3	9

すべての橋梁及びトンネルを長寿命化修繕計画の対象とする。

### 2) 健全性の判定区分の割合



トンネルはⅢ判定が11%、Ⅱ判定が89%である。

### 3) 修繕等措置の着手状況

令和1年から令和5年までの修繕実績を別紙「修繕等措置の着手状況一覧表」に示す。

### 4) 対策の優先順位の考え方

限られた予算内で、効率的に長寿命化を図るには、対策の優先順位区分を設定する必要があり、健全性の違いは修繕費用の規模に与える影響が大きく、また、社会的影響にも大きく関与してくるため、重要路線及び健全性の低い施設を優先します。

また、施設の健全性が同一の場合の優先順位は、損傷状況、路線の重要度・緊急輸送路・利用頻度（交通量）・迂回路の状況・交差条件・塩カルの使用頻度・ライフラインの状況等に基づき決定します。

本計画における対策の優先順位

- ① 利用者の安全性
- ② 第三者被害の可能性
- ③ 自動車交通に与える影響の大きさ

#### ④ 道路ネットワークとしての特性 等の要因を考慮

### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理、新技術の活用に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握の基本的な方針

長野県「道路橋定期点検要領」及び国土交通省道路局「道路トンネル定期点検要領」に準じた定期点検を5年ごとに実施することにより、損傷状況(健全度)を把握し、次回の長寿命化修繕計画に反映します。

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常的な維持管理については、定期的にパトロールを行い施設の異常を早期に発見するとともに、以下のような維持管理を行なっています。

##### 簡易な維持作業

- ・ 舗装修繕
- ・ 排水施設とその付近の土砂撤去
- ・ 沓座付近の土砂撤去

##### 重点監視箇所

- ・ 路面のクラック・穴、伸縮装置部の段差
- ・ 高欄(ガードレール等)の鉛直方向のたわみ
- ・ 衝突などによる変形
- ・ 排水施設の詰まり
- ・ 支承付近の土砂堆積状況
- ・ 伸縮装置の詰まり
- ・ 漏水・滞水の有無
- ・ 覆工の浮き・剥離の有無
- ・ 付属部の状況

#### 3) 新技術の活用に関する基本的な方針

点検において、すべての管理施設で点検支援技術性能カタログ(案)の活用を検討する。

特に、2巡目の定期点検で橋梁点検車、高所作業車、ロープアクセス等を使用した橋梁(32橋、全体比率25.6%)については、新技術の活用を重点的に検討し、令和10年までに5%程度のコスト縮減を目指す。

修繕工事においても、すべての施設で設計段階から新技術情報提供システム(NETIS)の活用を含めた比較検討を行う。

#### 4. 対象施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

##### 1) 橋梁

架け替え時期を迎える橋梁に対して、従来の「対症療法型」で維持管理を続けた場合、橋梁の修繕や架替えに要する費用が一時期に多大となることが懸念され、従来の「対症療法型」から「予防保全型」への転換を図り橋梁の寿命を延ばす必要がある。対策シナリオとして、「対症療法型」、「予防保全型」のシナリオにより費用縮減のための管理区分を設定する。

また、点検においては新技術を活用することで、令和10年までの2巡目点検より、5%程度の費用削減を目指す。併せて、利用頻度の考慮や地元住民の意向を踏まえ、令和10年までに1橋程度の集約化・撤去を検討し維持管理費の5%程度削減を目指す。

「予防保全型」・・・ 損傷が深刻化する前に予防的な修繕を行う

※予防的な修繕のため工事費用が少なく、交通に与える影響が少ない。

「対症療法型」・・・ 損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う

※大規模な修繕のため工事費用が大きくなり、通行止めや交通規制等交通に与える影響が大きい。

##### 区分理由

- ① 後半に集中する架け替え橋梁の分散化を図る。
- ② 単年度に集中する工事費の分散化を図る。  
(全橋「予防保全型」の場合、前半に工事費が増大することが想定される。)
- ③ 小規模橋梁(橋長10m以下のRC床版橋等)は、劣化進行が比較的遅い。



以上から管理方針は、以下のとおり設定する。

橋長10mを超える橋 …………… 「予防保全型」

橋長10m以下の橋 …………… 「対症療法型」

##### 2) トンネル

トンネルについても、従来の対症療法型から、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う予防保全型への転換を図り、トンネルの寿命を延ばす。また、5年毎の定期点検で劣化の進行を経年観察し、早い段階で補修し、利用者の安全、施設の延命化、維持管理・更新コストの縮減を図ります。

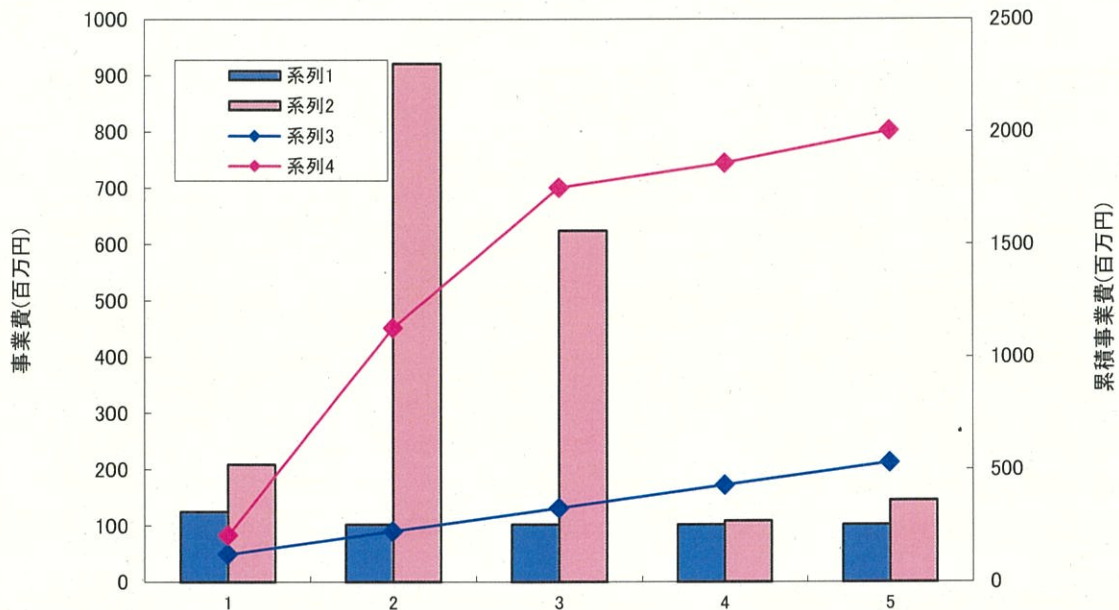
また、点検においては新技術を活用することで、令和10年までの2巡目点検より、5%程度の費用削減を目指す。集約化・撤去対象の検討を行ったところ、管理するトンネルは平岡ダムの管理路線等となっている重要な路線のほか、山間部に位置しており、迂回路も村外の林道等を経由するルートしかなく、25km(所要時間60分)迂回するため、集約化・撤去を行うことは困難である結論に至りました。

## 5. 対象施設ごとの概ねの修繕内容・時期又は架替え時期

一覧表による

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する124橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が20億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による長寿命化対策が5億円となり、コスト削減効果は15億円となる。



### 【安全性の向上】

定期点検結果を基に現状の把握を行い、路線ごとの重要性等を加味し、計画を策定することにより、適時適確な修繕工事を行うことができます。このことから損傷の進行による通行制限等が減少し、安全性の向上に繋がります、道路ネットワークの信頼性も確保できます。

### 【予算の平準化及び修繕計画】

定期点検結果を基に修繕にかかる費用を計上し、予算額を平準化した修繕計画を策定することで、限りある予算の中で計画的に事業を進めることができます。

そのため、修繕に必要な年度ごとの予算額は、できるだけ平準化を図り、路線ごとの優先順位や橋梁の規模等考慮し無駄のない計画とします。

また、定期点検に基づいて5年後に長寿命化修繕計画の見直しを行う。

## 7. 計画策定担当部署

### 1) 計画策定担当部署

天龍村 振興課 TEL : 0260-32-1022

修繕等措置の着手状況一覧表

整理 番号	施設名	路線名	橋種	架設 年度	延長 (m)	全幅員 (m)	点検 年月日	判定 区分	Ⅲ・Ⅳの状況	PCB	対応状況				
											R1	R2	R3	R4	R5
1	1号橋	(1級)長野長島線	RC橋	1960	6.1	4.2									
2	2号橋	(1級)長野長島線	RC橋	1960	5.3	4.2									
3	平岡橋	(1級)長野長島線	鋼橋	1985	153	5									
4	松栄橋	(2級)長野長島線	鋼橋	1991	38	5									
5	4号橋	(1級)長野長島線	RC橋	1960	2	4									
6	1号橋	(1級)長野原線	RC橋	1965	4.8	5	H27.2.24	Ⅲ	床板：鉄筋露出	-	単費対応				
7	大沢橋	(1級)十方峽線	RC橋	1965	4	12.3	H27.2.24	Ⅲ	床板：鉄筋露出	-	単費対応				
8	恵平沢橋	(1級)十方峽線	RC橋	1970	4	5									
9	恵平沢橋	(1級)中央北線	RC橋	1976	5.2	4									
10	若宮橋	(1級)岡本線	RC橋	1965	4	9									
11	岡本橋	(1級)岡本線	鋼橋	1975	8.5	3.5									
12	洞下橋	(1級)岡本線	RC橋	1960	5.3	4									
13	1号橋	(1級)長野大嵐線	RC橋	1965	4.3	5									
14	2号橋	(1級)長野大嵐線	RC橋	1960	3.2	3									
15	1号橋	(1級)弓塚線	RC橋	1965	5	3									
16	弓塚橋	(2級)弓塚線	鋼橋	1977	20	5	H28.10.13	Ⅲ	桁:F11T						
17	1号橋	(1級)余野線	RC橋	1965	3	3									
18	2号橋	(1級)余野線	RC橋	1965	2.7	9.2	H27.2.24	Ⅲ	床板：鉄筋露出	-	単費対応				
19	弥三郎橋	(1級)余野線	RC橋	1965	2.8	6									
20	桐生橋	(1級)うぐす小沢線	RC橋	1970	4	4									
21	水神橋	(1級)天竜左岸線	PC橋	1983	186	7									
22	小沢橋	(1級)天竜左岸線	RC橋	1940	33.3	7.6									
23	1号橋	(1級)天竜左岸線	PC橋	1960	10.7	3.5									
24	2号橋(緑橋)	(1級)天竜左岸線	RC橋	1960	10.8	3.5	H29.9.20	Ⅲ	桁、下部：逆灣石灰	-	補修設計				補助工事
25	3号橋	(1級)天竜左岸線	RC橋	1965	4.2	3.5									
26	観音橋	(1級)天竜左岸線	RC橋	1940	10.6	3									
27	5号橋	(1級)天竜左岸線	RC橋	1973	7	4									
28	コイヤワ橋	(1級)天竜左岸線	鋼橋	1965	24.6	2.6	H29.9.5	Ⅲ	桁：ゆるみ						補修設計

修繕等措置の着手状況一覧表

整理 番号	施設名	路線名	橋種	架設 年度	延長 (m)	全幅員 (m)	点検 年月日	判定 区分	Ⅲ・Ⅳの状況	PCB	対応状況				
											R1	R2	R3	R4	R5
29	南沢上橋	(1級)うぐす停車場線	RC橋	1960	3.3	5									
30	北沢橋	(1級)うぐす停車場線	RC橋	1960	4	4									
31	不生沢橋	(2級)不生沢線	RC橋	1960	5.2	5.3									
32	栢洞橋	(2級)屋奈瀬運地線	RC橋	1975	8	3.6									
33	西岡橋	(2級)屋奈瀬運地線	RC橋	1970	5	4									
34	和合橋	(2級)合戸線	鋼橋	1940	38	2.9	H28.10.21	Ⅲ	桁:F11T						
35	1号橋	(2級)明ヶ島線	鋼橋	1975	11.3	3.5									
36	2号橋	(2級)明ヶ島線	鋼橋	1988	15	3.5									
37	田井沢橋	(2級)明ヶ島線	鋼橋	1980	44	3.2									
38	明ヶ島橋	(2級)明ヶ島線	RC橋	1978	8	3.6									
39	田の洞橋	(2級)大久那線	鋼橋	2002	10	4									
40	平沢橋	(2級)見遠線	RC橋	1970	5.5	3									
41	唐沢橋	(2級)見遠線	RC橋	1970	6	4.9									
42	野竹橋	(2級)梨畑線	鋼橋	2009	10	4									
43	1号橋	(2級)峠山線	RC橋	1970	3.4	5.6									
44	折立橋	折立線	鋼橋	1980	94.1	5.2									
45	要長橋	要津線	鋼橋	1995	83	1	H29.9.6	Ⅲ	桁:素線切れ	未調査					
46	1号橋	恵平線	RC橋	1940	4.5	1.2									
47	1号橋	中央余野線	鋼橋	1940	4.7	0.9									
48	北橋	矢当地線	鋼橋	1940	3.6	1									
49	2号橋	矢当地線	RC橋	1940	3	1.7									
50	1号橋9	松葉線	RC橋	1960	4	4									
51	北橋	中央北2号線	鋼橋	1940	7.8	0.9									
52	1号橋	本町中央線	RC橋	1940	11.4	4.2									
53	1号橋11	田村川島線	RC橋	1985	6.5	5									
54	2号橋	田村川島線	RC橋	1985	10.5	6.2									
55	糸姫橋	長野本町線	RC橋	1965	4	3									
56	1号橋	長野大井戸線	RC橋	1960	4.4	2									

修繕等措置の着手状況一覧表

整理番号	施設名	路線名	橋種	架設年度	延長(m)	全幅員(m)	点検年月日	判定区分	Ⅲ・Ⅳの状況	PCB	対応状況				
											R1	R2	R3	R4	R5
57	2号橋	長野大井戸線	RC橋	1960	5.2	4									
58	3号橋	長野大井戸線	RC橋	1965	3.8	3									
59	学校橋	長野川島線	RC橋	1965	5.2	3									
60	土場下橋	岡本公民館線	RC橋	1981	16.6	3.7									
61	紙岡橋	土場上線	RC橋	1940	7.4	1.6									
62	1号橋	打滝川島線	鋼橋	1965	12.8	4.1	R4.9.17	Ⅳ	桁・腐食						補修設計
83	ウヰ沢2号橋	万城線	鋼橋	1965	10	2.6									
84	軒山橋	駕籠軒山線	RC橋	1970	7	4									
85	下山橋	下山線	RC橋	1977	21	3									
86	小城橋	小城線	RC橋	1940	7	3.1									
87	1号橋	引の田線	鋼橋	1940	4.7	1									
88	引の田橋	引の田線	鋼橋	1940	13.8	1									
89	矢立沢川橋	大河内線	RC橋	1970	7	9.4									
90	高小屋橋	大河内線	RC橋	1985	5	6.8									
91	原橋	尾美の沢線	PC橋	1971	9.1	2.5									
93	尾美の沢3号橋	尾美の沢線	RC橋	1965	4	3									
94	新野路沢橋	浪合線	RC橋	1965	4	3.2									
95	2号橋	浪合線	RC橋	1965	3	3									
96	3号橋	浪合線	RC橋	1965	2.6	3.4									
97	公民館前橋	大河内右岸線	RC橋	1955	7.6	4									
98	2号橋	大河内右岸線	RC橋	1960	3.2	9.2									
99	3号橋	大河内右岸線	RC橋	1970	10.9	4.4									
100	軒山沢橋	大河内軒山線	RC橋	1965	2.9	3									
101	1号橋	向井沢線	RC橋	1965	4	3.5									
102	大久保橋	中河内線	RC橋	1965	3	3.6									
103	2号橋	中河内線	RC橋	1960	2.55	3.6									
104	ツノ内沢橋	中河内線	RC橋	1965	7	2.5									
105	栢橋	中河内線	RC橋	1965	6	3									

修繕等措置の着手状況一覧表

整理番号	施設名	路線名	橋種	架設年度	延長(m)	全幅員(m)	点検年月日	判定区分	Ⅲ・Ⅳの状況	PCB	対応状況				
											R1	R2	R3	R4	R5
106	5号橋	中河内線	RC橋	1960	6	3									
107	正の沢橋	中河内線	RC橋	1960	4.4	2.4									
108	7号橋	中河内線	RC橋	1960	8.8	3.5									
109	どうせん橋	中河内線	RC橋	1960	6.6	2.6									
114	川合橋	川合線	鋼橋	1980	36.4	3.8									
115	笠井島橋	笠井島線	鋼橋	1986	45.5	4									
116	平神橋	(1級)平神線	鋼橋	1977	112	6									
117	1号橋	大河内浄水場線	鋼橋	1940	4	1.9									
120	1号橋	田島2号線	鋼橋	1960	13.5	2.4									
121	1号橋	森大川内線	鋼橋	1940	18	0.9									
122	1号橋	都合坂2号線	鋼橋	1940	7	1.5									
123	1号橋	折立下線	RC橋	1970	4.6	3.1									
124	1号橋(精心橋)	精心線	RC橋	1940	16	4.6	H29.10.9	Ⅲ	床板:鉄筋露出						
125	1号橋	田の洞線	RC橋	1965	4.3	3									
126	2号橋	田の洞線	RC橋	1965	8.1	3.5									
127	3号橋	田の洞線	RC橋	1965	5	3.5									
128	清水橋	天竜川線	RC橋	1964	14.8	4.4	H29.9.28	Ⅲ	高欄:第3者	-	単費対応				
129	観音橋	天竜川線	PC橋	1965	23	4.6									
130	伝法橋	天竜川線	RC橋	1965	13.2	4.8	H29.9.26	Ⅲ	高欄:第3者	-	単費対応				
131	富生橋	天竜川線	鋼橋	1966	25.4	4.7	H29.9.26	Ⅲ	桁:腐食		補修設計		補助工事		
132	山伏沢橋	天竜川線	鋼橋	1968	19	4.9									
133	吉ヶ沢橋	天竜川線	鋼橋	1968	10.2	5.4									
134	所沢橋	天竜川線	鋼橋	1968	13	4.8	R4.10.21	Ⅲ	下部:洗掘	含有					R6:補修設計 R7:工事
135	小城1号橋	天竜川線	鋼橋	1969	12	4.6	R4.11.10	Ⅲ	床版:剥離、鉄筋露出	含有					補修設計
136	小城2号橋	天竜川線	鋼橋	1969	16.1	4.9									
137	境橋	天竜川線	鋼橋	1969	28	4.5									
138	1号橋	日向線	木橋	1940	6	4									
139	1号橋	沢口線	RC橋	1940	9.8	2.2									

修繕等措置の着手状況一覽表

整理番号	施設名	路線名	橋種	架設年度	延長(m)	全幅員(m)	点検年月日	判定区分	Ⅲ・Ⅳの状況	PCB	対応状況				
											R1	R2	R3	R4	R5
140	1号橋	駕籠下線	RC橋	1965	4	3									
141	尾美の沢上橋	尾美の沢上線	RC橋	1965	9	3									
142	1号橋	中央岡本線	RC橋	1975	5.2	5									
143	清水橋	清水橋線	鋼橋	1999	74	0.9	H29.9.15	Ⅲ	床板:全体ゆがみ	未調査					
144	恵平沢橋	十方峽下線	RC橋	1970	4.7	7									
145	戸沢橋	十久保線	RC橋	1980	9	4.6									
146	1号橋	月沢線	鋼橋	1940	10.3	3									
147	2号橋	月沢線	鋼橋	1940	3	3.6									
148	1号橋	田島1号線	鋼橋	1940	8	0.9									
149	若龍橋	天龍小学校下線	RC橋	2020	6.1	6.62									
150	人道橋	天竜左岸線	RC橋	2013	26	1									

トンネル

1	十方峽トンネル	十方峽線		1956	9.7	3.5									
2	天竜第一隧道	天竜川線		1968	56.0	5.2									
3	天竜第二隧道	天竜川線		1969	159.8	5.2									
4	1号トンネル	長野長島線		1952	77.9	4.0									
5	2号トンネル	長野長島線		1952	22.8	3.8									
6	3号トンネル	長野長島線		1952	167.0	3.4									
7	4号トンネル	長野長島線		1952	39.5	3.0									
8	5号トンネル	長野長島線		1952	20.0	3.0									
9	6号トンネル	長野長島線		1952	44.1	3.0									

5. 対象施設ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

整理番号	橋梁名	路線名	橋種	架設年度	橋長(m)	全幅員(m)	判定区分	最新点検年度	対策の内容・時期									
									R6	R7	R8	R9	R10	備考				
62	1号橋	打滝川島線	鋼橋	1965	12.8	4.1	IV	R4	予定									
									実施	主部材:緊急補修								
135	小城1号橋	天竜川線	鋼橋	1969	12	4.6	III	R4	予定									
									実施	主部材:緊急補修								
83	ウ沢2号橋	万城線	鋼橋	1965	10	2.6	III	R4	予定									
									実施		床版:緊急補修等							
134	所沢橋	天竜川線	鋼橋	1968	13	4.8	III	R4	予定									
									実施		橋台:緊急補修等							
31	不生沢橋	(2級)不生沢線	RC橋	1960	5.2	5.3	III	R2	予定									
									実施		橋台:緊急補修等							
27	5号橋	(1級)天竜左岸線	RC橋	1973	7	4	III	R3	予定									
									実施		橋脚:緊急補修等							
21	水神橋	(1級)天竜左岸線	PC橋	1983	186	7	II	R3	予定									
									実施		主部材:緊急補修等							
57	2号橋	長野大井戸線	RC橋	1960	5.2	4	II	R2	予定									
									実施		主部材:緊急補修							
3	平岡橋	(1級)長野長島線	鋼橋	1985	153	5	II	R3	予定									
									実施			床版:緊急補修等						
11	岡本橋	(1級)岡本線	鋼橋	1975	8.5	3.5	II	R1	予定									
									実施									主部材:3種カレンス塗装等 床版:床版防水工及び割れ注入
137	埴橋	天竜川線	鋼橋	1969	28	4.5	II	R4	予定									
									実施									
52	1号橋	本町中央線	RC橋	1940	11.4	4.2	II	R4	予定									
									実施									

















整理 番号	橋梁名	路線名	橋種	架設 年度	橋長 (m)	全長 (m)	判定 区分	最新 点検 年次	対策の内容・時期												
									R6	R7	R8	R9	R10	備考							
92	尾美の沢2号橋	尾美の沢線	RC橋	1970	2.6	2.9	-	-	予定												
									実施												

トンネル

1	十方峡トンネル	十方峡線		1956	9.7	3.5	I	R1	点検	予定											
										実施											
2	天竜第一隧道	天竜川線		1968	56.0	5.2	II	R1	点検	予定											
										実施											
3	天竜第二隧道	天竜川線		1969	159.8	5.2	II	R1	点検	予定											
										実施											
4	1号トンネル	長野長島線		1952	77.9	4.0	II	R1	点検	予定											
										実施											
5	2号トンネル	長野長島線		1952	22.8	3.8	II	R1	点検	予定											
										実施											
6	3号トンネル	長野長島線		1952	167.0	3.4	III	R1	点検	予定											
										実施											
7	4号トンネル	長野長島線		1952	39.5	3.0	II	R1	点検	予定											
										実施											
8	5号トンネル	長野長島線		1952	20.0	3.0	II	R1	点検	予定											
										実施											
9	6号トンネル	長野長島線		1952	44.1	3.0	II	R1	点検	予定											
										実施											